

今までの取り組み・これからの課題

協働の まちづくり 通信簿

市では、平成23年度から「市協働のまちづくり推進計画」に基づき、市民・地縁による団体・市民活動団体・事業者と市によるまちづくりを進めています。

平成28～32年度を計画期間とする後期実行計画の取り組み状況について、市協働のまちづくり推進委員会から意見のとりまとめがありましたので、主な内容をお知らせします。

図 市民活動推進課市民協働推進班

☎ (93) 11117

環境づくり

②市民活動サポートセンター機能の充実

平成28年3月に開設されたサポートセンターは、協働のまちづくりを推進する拠点として、コーディネートとネットワーク、資源の掘り起こしと提供、人材育成、政策提言など、現状で可能な限り行われている。

今後も、サポートセンター

の設置目的である「市民や市民活動団体などと市が交流しながら連携できる場」として、サポートセンターが中心となり、「地域にとつて、これから何が必要なのか」を話し合える場を提供してほしい。

③まちづくりコーディネーターの育成及び充実

コーディネーターの育成は、実績を有するNPO法人へ委託して進めている。
コーディネーター機能を充

実させていくためには、コーディネーター自身が積極的に地域に出て、地域や団体の課題、ニーズなどを把握するなど情報収集に努めることが重要である。

⑤市民活動支援基金の検討

市民参加型の「ちい寄附」地域のために小さな寄附から事業を、平成29年度から実施できるように進めてきたことは、市民活動のPR・ふるさと応援寄附金の活用にもつながるものである。

担い手づくり

⑦協働のまちづくり講座の開催

この講座は、おおむね効果を挙げていると評価できるが、より多くの世代、より多くの人に参加してもらえらう、その周知方法や講座の開催には更なる工夫が必要。

今後も世代や分野ごとに実践型も取り入れ、効果的に実

協働のまちづくり推進事業の一覧

協働のまちづくりの年度ごとに予定している事業が一覧でわかります。
※本文に丸数字で示した記述がある内容は、各項番とリンクしています。

項番	事業名	年次計画（年度）				
		平成28	平成29	平成30	平成31	平成32
1	協働のまちづくりを推進する課の充実	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
2	市民活動サポートセンター機能の充実	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
3	まちづくりコーディネーターの育成及び充実	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
4	市民活動支援補助金の充実	実施	見直し・実施	⇒	⇒	見直し・実施
5	市民活動支援基金の検討	実施 仕組検討	⇒	⇒	⇒	⇒
6	地域づくり協議会などの地域ネットワークの促進	実施 仕組検討	⇒	⇒	⇒	⇒
7	協働のまちづくり講座の開催	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
8	情報交換の場づくり	検討	実施	⇒	⇒	⇒
9	協働の担い手情報の充実と活用	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
10	市民活動感謝状贈呈制度の運用	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
11	とみさと協働塾の開催	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
12	市民活動総合補償制度の運用	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
13	(仮称) 地域活動ポイントの検討	検討	⇒	⇒	⇒	⇒
14	市民活動の実態及び意向調査	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
15	活動事例の紹介	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
16	協働PRリーフレットの作成	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
17	とみさとふれあい講座の拡充	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
18	市民活動団体などによる講座の検討	検討	実施	⇒	⇒	⇒
19	協働専用情報発信ツールの運用	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
20	市広報紙及びホームページの充実	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
21	とみさと市民活動フェスタの開催	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
22	地域フォーラムの開催	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
23	とみさとの情報コーナーの多様化	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
24	社会福祉協議会などとの連携	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
25	パブリックコメント制度の周知	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
26	市民提案機会の拡充	検討	実施	⇒	⇒	⇒
27	審議会などへの公募委員による市民参画の推進	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
28	市政への参画機会の拡充	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
29	協働のまちづくりモデル事業の実施	検討	実施	⇒	⇒	⇒
30	職員研修の実施	実施	⇒	⇒	⇒	⇒

施できることを期待する。

⑩市民活動表彰制度の運用

この制度は、被表彰者の励みになることはもちろんであるが、市民が市民を表彰する（感謝する）という意義が大きいと思う。推薦者なども含め、市民が協働のまちづくりに関心を持つという点からも大きな効果が得られたと感じているので、大いに活用・実施することを望む。

今後市民活動フェスタで表彰式を行うことにより、「協働のまちづくり」について関心を持つてもらえれば良い。

⑬(仮称) 地域活動ポイントの検討

現在検討が進んでいる、(仮

情報の提供・共有

称 ボランティア手帳は、ボランティアの裾野を広げることが目的だと思うので、十分な活用が図られるよう、協議していくことが必要である。現状では、ポイントの還元を無くして、ボランティア手帳を発行することになったがこの手帳をどのように活用していくか、また、ポイント制についても、事業者を対象に加えるなど、もっと幅広い視点に立って調査・検討していきたい。

⑪市民活動の実態及び意向調査

市内で活動する全ての市民

活動団体や趣味の活動を主にしている団体の活動状況を把握するため、実態及び意向調査を実施し、一覧表を作成したことは一定の評価が上げられる。

⑫地域フォーラムの開催

平成28年度は、洗心小学校区で洗心小学校閉校前に地域フォーラムを開催できたことは大変良かったが、当初の目的である全小学校区での開催はまだ実現できていない。

市の体制について

⑭市民活動の実態及び意向調査

また、各地域において、一度きりではなく、地域の課題をテーマとして定期的に開催できるようフォローアップを検討する必要がある。

市政への参画

⑮パブリックコメント制度の周知

パブリックコメント制度は、まだ市民への周知が行き届いていないと思われる。

例えば、高齢者に関するテーマなら高齢者に、商工業に関するテーマなら商工関係者に、それぞれ関係する人たちへの周知を徹底し、参加できる仕組みができると良い。

⑯市民提案機会の拡充

平成28年度は「とみさとふれあいミーティング」が市民活動フェスタへ出張して開催するなど、市民提案機会が増えたと感じる。

現在の事業は、市民から市政への要求という形になりがちである。

今後は、市長と市民とが創造的な意見交換ができる機会として、市民と市当局が「協働して、解決の糸口を探っていくけるような場」に発展していくことを期待する。